



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

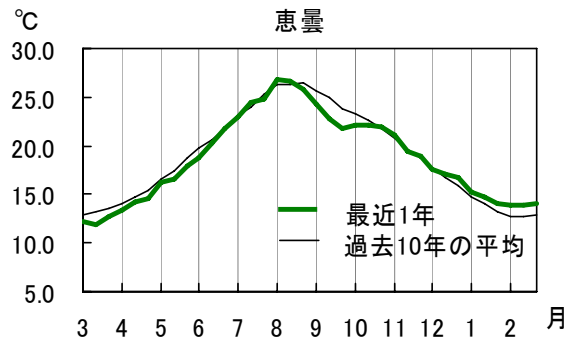
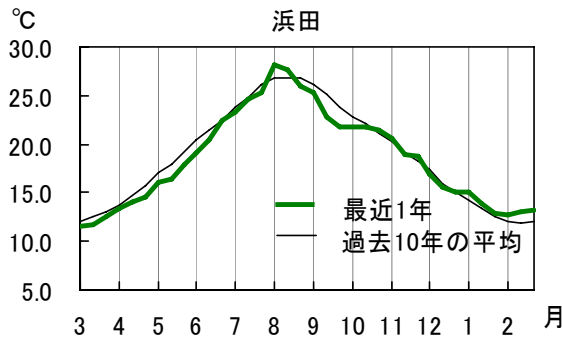
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《1-2月の海況》

1月	月平均	平年差	評価
浜田	13.9℃	+0.6℃	やや高め
恵曇	14.7℃	+0.6℃	やや高め

沿岸定地水温は、1月は浜田、恵曇とも平年よりやや高めとなりました。2月に入ってから浜田、恵曇とも平年よりかなり高めに推移しています。


 《1月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

前月に引続いて各地区ともマサバを主体に好調に推移しました。浜田の漁獲量、金額はそれぞれ平年の1.6倍、1.1倍でした。浦郷の漁獲量、金額はそれぞれ平年の2.5倍、2.2倍でした。西郷の漁獲量、金額はそれぞれ平年の3倍、1.8倍でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田港(属地5トン以上)ではスルメイカ中心の漁況で、漁獲量は不漁であった前年の1.5倍となったものの平年比では8割、漁獲金額は平年比で6割と伸び悩みました。西郷(属人5トン以上)はスルメイカ中心の漁況で、漁獲量は平年の1.9倍、漁獲金額は平年の2.1倍と好調でした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田港では1ヶ統1航海あたり漁獲量は前年を下回ったものの、平年(過去10年平均)を上回りました。漁獲の主体はソウハチ、アンコウでした。今期好調のソウハチは前年、平年の約1.3倍の漁獲がありました。アンコウは前年の1.4倍、平年の1.7倍の漁獲がありました。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区ではソウハチ、アンコウ、ニギスが、和江地区ではソウハチ、アンコウが主に漁獲され、なかでもアンコウは平年の2~4倍の漁獲がありました。総漁獲量、1隻1航海あたり漁獲量とも前年をやや上回りました。

## 【定置網漁業】

石見地区ではブリを中心に平年の4割の漁獲量となりました。出雲地区ではスルメイカ・マアジが多く漁獲され、漁獲量は平年の1.7倍となりました。隠岐地区ではスルメイカ主体で平年の1.2倍の漁獲量となりました。

## 【釣・縄】

石見地区ではアマダイ、サワラ、ブリ、メダイ等が漁獲され、漁獲量は平年の1.1倍でした。出雲地区ではブリ、ヤリイカを主体に漁獲量は平年の2.1倍と好調でした。隠岐地区ではメダイ、スルメイカ、カサゴ・メバル等が漁獲され、漁獲量は平年の1.2倍でした。

**その他情報** : 1月下旬から県内各地の定置網でハリセンボンが大量に入網しています。多いところでは1日に数トン入網する場合もあり、操業の妨げになっています。

【平成19年1月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大中型)	浜田	マサバ、マアジ	772トン	395	156	30トン	350	101	○
	西郷	マサバ、マアジ、スルメイカ	6,129トン	160	300	83トン	162	215	◎
	浦郷	マサバ、マアジ、スルメイカ	3,431トン	161	245	58トン	152	161	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	271トン	150	82	913 kg	96	82	○
	西郷	スルメイカ	51トン	500	191	302 kg	142	87	○
沖合 底びき網	浜田	ソウハチ、アンコウ	279トン	76	92	16トン	88	142	◎
小型 底びき網	大田市	ソウハチ、アンコウ、ニギス	158トン	114	163	692kg	115	135	◎
	和江	ソウハチ、アンコウ	223トン	102	135	732kg	123	119	◎
定置網 (大型)	浜田	-	-	-	-	-	-	-	-
	美保関	スルメイカ・マアジ	90トン	250	256	1,095kg	108	114	◎
	浦郷	スルメイカ	34トン	90	133	2,305kg	142	204	○
釣り・縄	仁摩	メダイ、サワラ、スルメイカ	14トン	68	94	44kg	84	86	○
	大社	ブリ、サワラ、イサキ	31トン	236	94	56kg	87	93	○
	西郷	メダイ、スルメイカ	22トン	144	97	58kg	114	82	○

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下